

平成27年

第1回防府市議会定例会

一般質問

3月5日（5人）

1 今津 誠一・2 山田 耕治・3 山根 祐二・4 山下 和明  
5 吉村 弘之

3月6日（4人）

6 久保 潤爾・7 清水 浩司・8 藤村こずえ・9 木村 一彦

3月9日（4人）

10 高砂 朋子・11 中林 堅造・12 和田 敏明・13 山本 久江

3月10日（4人）

14 三原 昭治・15 重川 恭年・16 田中 健次・17 松村 学

No.	1	今津 誠一
質問事項		要 旨
1	「地方創生」	<p>政府は地方創生の総合戦略とその具体策を発表した。</p> <p>これまで、地方は単独で再生策を考えてきたが、政府が地方の再生に目を向け、これを支援することは大いに歓迎すべきことである。</p> <p>政府の「地方創生」の骨子等をよく理解し、防府市の特性を活かした独自の創生策を早く策定すべきである。</p> <p>いま、市が考えている創生策の中身を尋ねるとともに、いくつかの提案をしたい。</p>
2	「いじめ対策」	<p>いじめは相手の人格を十分に認めないことが発生の原因と考える。互いの人格を認める為には、互いの優れたところを評価することが大事だと思う。その様な行為を習慣付ける為に、毎朝、教室で数分間でもその為の時間を設け、実践することを提案する。</p>

No.	2	山田 耕治
質 問 事 項		要 旨
1	学校教育と学校施設について	<p>(1) 地域の教育力を活かし、義務教育9年間で連続した一貫教育の充実を図る「小中一貫教育」に取り組んでいる自治体も増えている中で、防府市も富海地区で一貫教育を進めようとしているが、今後の展開と考え方は？</p> <p>(2) それぞれの学校のニーズに応じて、地域や保護者のボランティア「学校支援ボランティア」との調整を図りながら学校支援を進めていると思うが、各学区の取組み状況においての問題点は？</p> <p>(3) いじめ撲滅に対する状況と不登校率の推移は？</p> <p>(4) 地域防災との連携で避難場所とされている体育館だが、防災強化の整備状況は？</p> <p>(5) 学校施設の管理や子ども達を犯罪から守るという点からの体制は？</p>
2	認知症対策の推進について	<p>(1) 認知症初期集中支援チーム設置促進モデル事業に対しての本市の支援体制をどのように考えているか？</p> <p>(2) 高齢化に向けての対応で、各企業等で実施されている「認知症サポーター」ですが、庁内も含めての研修状況は？</p>

No.	3	山根 祐二		
質 問 事 項			要 旨	
1	特定健康診査受診推進について		(1) 特定健康診査対象者への受診の啓発、推進はどのようにしていくのか。  (2) 1年間全く保険診療を受けていない世帯数、その割合について伺う。  (3) 国保の被保険者で1年間保険診療がなく、40歳以上の被保険者全員が特定健診を受けており、国保料を完納している世帯に対し健康推進奨励金を差し上げてはどうか。	
2	特殊詐欺防止対策について		(1) 県内のオレオレ詐欺等の特殊詐欺の発生件数、被害額、内容について伺う。  (2) 市としてどのような防止策をお考えか。  (3) 特殊詐欺防止機器の貸し出し、又は購入助成をしてはどうか。	
3	投票環境整備による投票率向上について		(1) 本市の近年の投票率の推移と期日前投票数の推移はいかがか。また、直近の国政選挙の年代別投票率を伺う。  (2) 各自治体が投票率を上げるため、様々な努力をされているが本市での取り組みはどうか。  (3) 投票率向上のためショッピングセンターに期日前投票所を設けてはどうか。	

No.	4	山下 和明
質 問 事 項		要 旨
1	介護保険について	介護保険制度の通所介護（デイサービス）事業について
2	子ども・子育て支援新制度について	子ども・子育て支援事業計画において、保育施設（保育所）の実態と入所について

No.	5	吉村 弘之		
質 問 事 項			要 旨	
1	小中学校統廃合基準の改正と遠距離通学助成について		(1) 文科省が改正した統廃合基準と通学区域の見直しの状況について (2) 野島小・中学校の児童数と今後の対策について (3) 富海小・中学校一貫教育の特徴と児童数について (4) スクールバスの現状及び遠距離通学児童数と遠距離通学の助成について	
2	土曜授業について		(1) 土曜授業を行う際の法的根拠 (2) 土曜授業の目的と試行した学校の効果と問題点 (3) 学校開放事業、スポーツ少年団等との調整について (4) 児童・生徒の学習環境の整備について (5) 現在の職員の有給休暇取得状況と労働基準法改正による平成28年度から実施予定の有給休暇5日取得義務化について	
3	吹奏楽部など全国大会出場に係る支援について		(1) 市内小・中学校の吹奏楽部全国大会出場状況 (2) 1校あたりの全国大会出場に係る経費の把握状況 (3) 全国大会出場校への市の支援状況 (4) 市内公立学校の楽器購入予算の増額について	
4	学校徴収金の口座振替について		(1) 給食費等の学校徴収金の口座振替の現状と今後の導入予定について (2) 学校徴収金事務手続や取扱方法の統一化と個人情報保護について (3) 学校給食費の公金化について	
5	未給水区域における井戸水質検査料助成について		(1) 普及率の現状と未給水区域における今後の整備予定 (2) 防府市被災飲用井戸水質検査料助成の実績 (3) 給水整備までの飲用井戸水質検査料助成について	

No.	6	久保 潤爾
質 問 事 項		要 旨
1	地方創生における地方版総合戦略の策定について	<p>来年度より地方版総合戦略の策定に取りかかれるにあたり、子育て支援策の充実のために「ワーク・ライフ・バランスの推進」と「多子世帯支援」を総合戦略に盛り込んでいただきたいと思うが、ご所見を伺う。</p>

No.	7	清水 浩司		
質 問 事 項			要 旨	
1	市道の拡幅について		奥畑（赤山）地区入口の市道が狭く、緊急車両の通行に支障がある。改善してほしい。	
2	土曜授業について		<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 土曜授業と学力向上の関連について</li> <li>(2) 土曜授業の目指す方向性</li> <li>(3) 土曜授業と地域の関わり</li> <li>(4) 土曜授業とPTAの意識・関わり</li> </ul>	
3	防府読売マラソンについて		<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) おもてなしの心について</li> <li>(2) 運営方法（開会式・閉会式）</li> <li>(3) 運営方法（競技面）</li> <li>(4) 運営方法（ハード面）</li> <li>(5) 運営方法（市職員、教職員の協力）</li> </ul>	





No.	9	木村 一彦
質 問 事 項		要 旨
1 国民健康保険について	(1) 都道府県単位化について  (2) 国保を持続可能な制度として存続させるための方策について	

No.	10	高砂 朋子		
質問事項			要 旨	
1	男女共同参画の推進について		<p>(1) 暴力を許さない環境づくりについて あらゆる世代の男女間における暴力の根絶に向けての広報・啓発活動の推進、情報の収集及び提供についての取り組みを伺う。</p> <p>(2) 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大について</p> <p>(3) 相談・支援体制の充実について 相談窓口の周知、相談受付・対応の状況、今後の課題を伺う。相談体制の更なる強化が必要では。</p> <p>(4) 男女共同参画センター（仮称）の設置について 男女の人権が尊重され、男女共同参画社会への意識づくり、ワーク・ライフ・バランスの推進等、多様な取り組みのための基幹センターが必要では。平成25年9月一般質問にて要望。その後の検討状況を伺う。</p>	
2	医療体制の充実について		<p>(1) 休日診療所の充実について 連休時や年末年始は患者数も多くなり、体制整備の充実が急務では。</p> <p>(2) 一次救急対応の休日夜間子ども救急センター（仮称）の設置について 平成25年3月一般質問にて要望。その後の検討状況を伺う。</p>	

No.	1 1	中林 堅造		
質 問 事 項			要 旨	
1	地域再生の取組について		小中一貫教育（富海地区）について	
2	周防国衙跡の調査について		これからの計画について	
3	小水力発電について		市の取り組み方	

No.	1 2	和田 敏明		
質 問 事 項			要 旨	
1	山頭火ふるさと館の建設について		<p>(1) プロポーザルの在り方について</p> <p>ア “周辺の景観に配慮したものとする” という項目を設けられていたのか。</p> <p>イ 審査の選考委員はどのように選定されたのか。</p> <p>ウ 選考委員に「歴史を活かしたまちづくり会議」の委員は含まれていたのか。</p> <p>エ 選考委員の職名は。</p> <p>オ 業務の委託契約日は。</p> <p>カ 委託期間は。</p> <p>キ 第二次審査で不採用となった他の業者の方が、文化庁が指摘した条件に合っていたということはないか。</p> <p>ク 第二次審査の結果が公表されているが、イメージパース図は掲載されていない意図は。</p> <p>(2) 建設予定地周辺への説明について</p> <p>ア 何故、12月まで協議がされなかったのか。</p> <p>イ 地域住民にはどのように説明をされてこられたのか。</p> <p>(3) 事業の進め方について</p> <p>ア 他の課や委員会とどのように協議をしながらここまで進めてきたのか。</p> <p>イ 「山頭火ふるさと館」は交付対象事業にならないのか。</p> <p>ウ 交付対象事業にならないのであれば、その財源はどう考えているのか。</p> <p>(4) 設計変更について</p> <p>設計費用の増額は生じないか。</p>	

No.	13	山本 久江	質問事項	要 旨
1			情報公開制度について	<p>情報公開条例の第5条（請求権者等）及び第20条（出資法人及び指定管理者への要請）の改正について</p>
2			子育て支援について	<p>(1) 新制度実施等に対応した庁内体制づくりについて</p> <p>(2) 利用希望増加が見込まれる預かり保育への対応について</p> <p>(3) 市立保育所の役割と存続について</p>
3			市奨学資金貸付制度の拡充について	<p>定住促進貸付制度の増額と給付型奨学金制度の創設について</p>

No.	14	三原 昭治	
質問事項			要 旨
<p>1 災害に対する危機管理について</p>	<p>防府市では、平成21年7月21日に豪雨災害により、大規模な土砂災害で、災害関連死の方も含め19人の死者を出す大災害が発生しました。また、平成23年3月11日には、死者15,884人、という痛ましい東日本大震災が発生。未だに2,633人の行方不明者がおられます。さらに昨年には、広島市で死者74人を出す土砂災害が発生。そして、今年1月17日、6,434人の死者を出した平成7年の阪神・淡路大震災から20年を迎えました。</p> <p>近年、地球温暖化などによる異常気象や地震、火山の噴火など、日本列島をはじめ、世界の各地で痛ましい大災害が発生して、大惨事となっています。</p> <p>さて、現在、最も懸念されているのが、死者が最悪約33万人に上ると想定される南海トラフ地震です。地震調査研究推進本部は2014年1月1日時点で、M8～9クラスの地震の30年以内の発生確率を70%程度と予測しており、国や関係区市町では南海トラフ地震に対して対策を進めているところです。</p> <p>対象地域である防府市において、南海トラフ地震をはじめ、多様な災害に対する早急な対策、対応が求められているところですが、災害に対する危機管理の考えや具体的な取り組みについてお尋ねします。</p>		

No.	15	重川 恭年
質問事項		要 旨
1	まち・ひと・しごと創生法 に対する防府市の対応につ いて	活力のある防府市にする為、地方創生に対 する法律との関連諸施策についてお伺いした い。



No.	16	田中 健次		
質問事項			要 旨	
1	学校司書の増員について		<p>(1) 昨年の12月議会一般質問で「国が指標としている学校司書1名当たりの兼務校が2校となるよう、今後も年次的に配置の充実に努めてまいりたい」と答弁されました。</p> <p>しかし、新年度予算案では、これまでどおりの6名で増員されませんでした。なぜ増員されなかったのですか。</p> <p>(2) 学校司書の増員について年次計画を示してほしい。</p>	
2	臨時・非常勤職員について		<p>昨年7月に総務省自治行政局公務員部長名で出された通知「臨時・非常勤職員及び任期付職員の任用等について」において、「任用の回数や年数が一定数に達していることのみを捉えて一律に応募要件に制限を設けることは、平等取扱いの原則や成績主義の観点から避けるべき」としています。</p> <p>非常勤職員の就業要綱等で委嘱が5年を超えてはならないとしているのは、見直すべきではないですか。</p>	
3	いわゆる「土曜授業」について		<p>(1) 市教育委員会が策定した「基本方針や留意事項」は、どのような内容ですか。</p> <p>(2) 文部科学省はホームページで、土曜日の教育活動をその実施主体、内容により「土曜授業」、「土曜の課外授業」、「土曜学習」に整理していますが、市教育委員会はどこまで考えているのですか。</p> <p>(3) 各学校の負担軽減のため、市教育委員会は、支援体制を考えることが必要ではないですか。</p>	

No.	17	松村 学	
質問事項			要 旨
<p>1 新市庁舎建設の位置（駅北駅前へ）について</p>	<p>防府市は立体交差事業を起点とした市街地再開発事業を進めてきた結果、駅周辺の環境は都市化を果たし、高層マンションも近年急速な建設ラッシュとなった。今こそ、さらなる街中居住や民業資本の駅周辺および街中投資を加速化させるために、新市庁舎の位置を駅北駅前の旧国鉄官舎跡地と周辺部と早期に決定すべきではないか？</p> <p>その際、形状の悪い官舎跡地周辺を区画整理し、民間のデベロッパーの力も導入し、未来都市（多機能集積）へと防府のまちづくりを再生する大きな核とすべきだ。</p> <p>駅前に市庁舎があれば、高齢者や訪問者にとっても、ワンステップで移動でき、交通の利便性も格段に上がる。なによりも、「駅前の顔」、「防府の象徴」と建設費以上の効果とにぎわいの火種になることは間違いない。</p> <p>新市庁舎の位置を「駅北駅前」という基本的考えとすべきだ。</p>		